

採択事業 NO.3

種 別：行政提案型

団体名：宝塚市花のみち自治会

事業名：河川敷焼き芋体験&マラソン大会

交付決定額：133,000 円

（事業を行おうとした動機・必要性）

当自治会は年3回（延べ日数9日）武庫川河川敷左岸（宝塚大橋から荒神川間）の草刈りを行っています。市民の散歩道になっている場所なので、気持ちよく歩いてもらえたらと思い、十数年前に活動を開始しました。綺麗に草刈りした河川敷を積極的に使うことを考えていたところ、今回趣旨にぴったりの補助金制度があることを知りました。隣の美座自治会も荒神川から宝塚新大橋間の草刈りを実施されていますので、本テーマの事業を共同で実施したいと考えます。

秋になると枯れ葉が散歩道周辺を埋め尽くし、そのまま放置すると堆肥となり雑草の生育を助長するので、草刈活動の一環として枯れ葉収集をしてもらい、最近の子どもたちがやったことがない焼き芋体験を行うという企画です。

さつまいもを焼いている間にマラソンを行い、終了後に焼き芋を食せば楽しい一時を過ごせると思います。

（事業を行う目的と期待される効果）

武庫川河川敷は自然に恵まれ、散歩や遊びに最適な場所です。ここでは、凧揚げ・バードウォッチング・街角観察会・河原柴胡保護活動・朝のラジオ体操など、様々な活動が行われています。特に、宝塚市花のみち自治会&美座自治会のボランティアの皆さんが年数回、宝塚大橋から宝塚新大橋間の草刈りを行っており、地域の美化に大きく貢献しています。

しかしながら、草刈活動の初期発起人たちが高齢化しており、活動の継続が危ぶまれています。この河川敷を今後も有効に活用し続けるためには、さらに多くの人々の参加と協力が必要です。

秋になると河川敷には枯れ葉が積もり、それが堆肥となって雑草が生えやすくなります。そこで河川敷の草刈活動の一環として枯れ葉集めを行い、その枯れ葉を使って昔懐かしい焼き芋を作る行事を開催すれば、子どもたちが喜ぶだけでなく、地域の皆さんにとっても楽しい催しとなるのではないのでしょうか。

また、河川敷は車の通行がなく安全ですので、同時にマラソンや駅伝といったスポーツイベントを秋の恒例行事として開催することもできます。これにより、地域の皆さんに参加していただき、河川敷の美化の重要性を感じてもらおうと同時に、草刈りボランティアとしての参加者も増えることが期待されます。

これらの活動は、地域コミュニティの絆を深めるだけでなく、自然環境の保護と意地にも

繋がります。武庫川河川敷の美化活動を今後も続けていくために、新しい参加者募集や、地域全体での協力が不可欠です。

（事業の内容）

実施時期 : 2024年11月～12月

場 所 : 武庫川河川敷左岸（宝塚大橋～荒神川）

回 数 : 年1回

参加予定人数 : 100名

実施方法 :

- ① 参加者に枯れ葉を集めてもらい、焚き火用囲いの中に入れてもらう
- ② さつまいもをアルミホイルに包み、枯れ葉の中に入れてもらう
- ③ マラソン経路の両端に見張りを立て、通行人の交通整理を行う
- ④ マラソンを行う（駅伝方式も検討中）